

研修No. 3 4

2022年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2023年 3月 22日
研究・研修課題名	妊婦・授乳婦薬物療法専門薬剤師・認定薬剤師取得のための講習会への参加
研究・研修組織名(所属)	薬剤部
研究・研修責任者名(所属)	池淵明美伽(薬剤部)
研究・研修実施者名(所属)	池淵明美伽、遠藤進一、北郷真史、高鳥紗帆、山崎健太(薬剤部)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input checked="" type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	池淵明美伽、遠藤進一、北郷真史、高鳥紗帆、山崎健太(薬剤部)
学会名(会期・場所)、認定名等	会名：令和4年度妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師講習会 会期：第1回 Web 令和4年 4月24日(日) 第2回 Web 令和4年 11月3日(木) 認定名：妊婦・授乳婦薬物療法専門薬剤師・認定薬剤師
演題名・認証交付元等	日本病院薬剤師会
取得日・認定期間等	
診療報酬加算の有・無	<input type="checkbox"/> 加算有() <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容

①目的

当院では、令和3年4月より総合周産期母子医療センターが稼働となり、重症妊婦や低体重等の新生児に対する高度な医療の提供が開始された。薬剤師も、高度な薬物治療の提供に貢献する必要があるが、周産期では、特有な母体の変化や胎児・乳児への有害作用等に配慮する必要があり、高い専門性や、知識・技能が求められる。そこで、日本病院薬剤師会が認定する妊婦・授乳婦薬物療法専門薬剤師、同認定薬剤師の資格取得を目指すため、妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師講習会や、妊娠と薬情報センター業務研修会を受講して、認定申請に必要な単位を取得すると共に、専門的な知識や技能、倫理観や優れた見識を身につけ、日常業務に活用することを目的とする。

②方法

令和4年度妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師講習会が下記日程にて開催された。本講習会を薬剤師2名(池淵明美伽、山崎健太)が受講した。

主催：一般社団法人 日本病院薬剤師会

期間：令和4年4月24日(日)、令和4年11月3日(水)

開催方法：web開催

③成果

本講習会に参加することにより、妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師の申請に必要な単位のうち5.5単位を取得することができた。講習会の内容は、妊婦・授乳婦における各々の疾患に対する薬物治療の最新の知見や情報などであり、高度な薬物治療の提供に貢献するために必要な講習会であった。また、臨床研究データを理解するための統計解析に関する講義もあり、情報発信するために必要な知識の習得にもつながった。本講習会の内容を薬剤師間で共有することによりスキルアップを図ることができた。